



会津アピオ

会津アピオ組合だより

「脱炭素グランドデザイン提案書」完成

2023年、会津アピオエリアは環境省の補助事業の脱炭素先行地域(※1)に選定されました。これは会津若松市が「ゼロカーボンシティ会津若松」を実現するために、アピオエリア・鶴ヶ城周辺エリア・湊エリアを脱炭素先行地域として国に応募申請。当組合は会津若松市・(株)東邦銀行と共に共同提案者として2023年4月28日付けで選定を受けました。

(※1「脱炭素先行地域」は(国(環境省)が全国で100箇所程度選定するものです。脱炭素先行地域内では、2030年までに民生部門の施設(住宅や店舗やオフィスビル等)の電力消費に伴う二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すものであり、脱炭素に向けた省エネ改修や再エネ導入などの取組に対して、2028年までの5年間で、上限50億円、交付率2/3の交付金が交付されるものです)

専門委員会で協議を重ねる

当組合では脱炭素を推し進めるに当たり、2024年度会津アピオ脱炭素実行委員会(※2)を設立し協議を重ねて参りました。当組合の将来を見据え、「いつまでに何をどのように行っていくべきなのか」その指針を定めるべきグランドデザインを描きました。

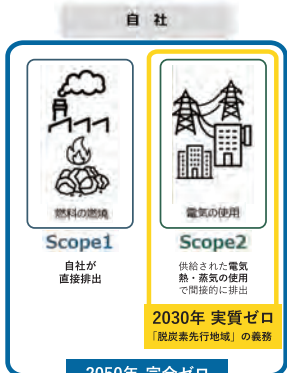
(※2 2024年度会津アピオ脱炭素実行委員(敬称略)

佐藤理夫(福島大学共生システム理工学類教授)、久田雅之(会津大学客員教授)、伊藤真人(会津エネルギーアライアンス幹事長)、白井隼人(会津若松市役所

環境生活課)、梅津國蔵(福島県中央会津事務所所長)、山本真一(当組合理事長)、栗林寿(当組合副理事長)、山田剛士(当組合副理事長)、五十嵐新典(当組合理事(以下理事))、三瓶貴裕(理事)、大槻努(理事)、相馬紀幸(理事)、二瓶靖(事務局)、長嶺修(事務局)

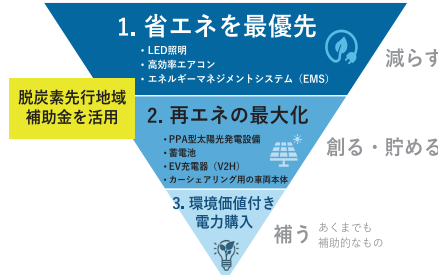
2030年スコープ2実質ゼロを目指して

脱炭素先行地域補助金を活用し、2030年までにスコープ2(※3)の実質ゼロを目指している。これは脱炭素先行地域に課された義務となっている。



達成に向けては、まず省エネを最優先し、LED照明の導入や高効率エアコンの導入、エネルギーマネジメントシステム(EMS)による温室効果ガスの削減を図り、次に再エネの最大化として、PPA型太陽光設備(※4)、蓄電池、EV充電器などにより、電気を創り・貯めることによりスコープ2実質ゼロを目指すとしている。

「2030年スコープ2削減達成」実施ステップ



省エネ設備の導入やPPA型太陽光発電、蓄電池に補助金が活用できるのである。

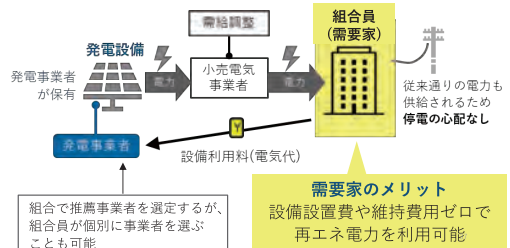
(※3他社から供給された電気・熱・蒸気を使うことで、間接的に排出される温室効果ガス。たとえば企業に電力会社から電気が供給されており、その電気が石炭火力発電など化石燃料を使って作られる際に排出される温室効果ガス等)(※4発電事業者が企業の屋根等に太陽光設備を設置し、需要家となる企業は太陽光設備から作られた電気を購入すること)

これでこれからどうなるの？

組合としましては、2025年度も会津アピオ脱炭素実行委員会において協議検討を重ねていく予定です。

PPA型太陽光発電導入については、組合員企業へ導入意思の確認とPPA事業者の公募、それに併せたPPA事業者による現地視察・詳細調査・詳細設計・提案が行われた後にPPA事業者を決定し、2025年10月までに補助金の申請を予定しています。その後、国から採択を受けた後に施工

をしていくこととなる見込みです。組合員企業の皆様には都度、ご説明を差し上げていく予定でございます。



■ PPAとは
電気を使う側が自分で発電設備(太陽光パネルなど)を持つ必要がなく、発電事業者が設備を設置・管理し、電気を使う側はそこから作られた電気を買い取ることで

省エネ設備の導入には是非補助金の活用を!!

前述しましたLED照明や高効率空調設備などの省エネ設備の導入には、アピオ内に所在する建物に限り補助金を活用できます。折角の機会ですから有効にご活用ください。詳細につきましては会津若松市役所環境共生課(☎024212314700)までお問い合わせください。

ご理解とご協力を

今後、組合では会津アピオ脱炭素実行委員会において、組合の将来に向けて様々な検討を重ねて参ります。組合員企業の皆様にもご協力をお願いする場面も出てくると思いますが、ご協力の程、よろしくお願いたします。

5年ぶりの組合イベント

APIO BIZ PARK フェスタ season1 開催!!

2024年9月1日、コロナ禍を経て5年ぶりとなる組合イベントが開催されました。

かつては「会津アピオフェスティバル」というイベント名で開催されていましたが、装いも新たに「APIO BIZ PARK フェスタ」というイベント名で開催となりました。

VRアーティスト「せきぐちあいみ」さんのステージショー

APIO BIZ PARK フェスタ実行委員会では、イベントの開催内容や開催方法等について協議を重ね当日を迎えているわけですが、当委員会では



これまでの組合イベントとは異なる趣向で開催したいという想いから、VRアーティストのせきぐちあいみさんのショーを開催。

せきぐちあいみさんはテレビにも数多く出演しており、コンピュータで次々に仮想現実空間を作り出していきます。

その世界を見たご来場の皆様は一樣に驚きの表情をされていました。

圧巻だったのは、作り出された仮想現実空間を3Dゴーグルで覗いた時です。作り出された空間のぼろぼろが、目の前には本物の燃え盛る炎があり、鋭い目をした猛虎がこちらを睨んでいました。一瞬たじろいでしました。

アピオってどんなところなの？クイズラリーで認知向上を狙う

「アピオ」っていうと、多くの方は小売店舗さんが集まっているエリアを想像されると聞いています。ということは、小売店舗エリア外は「会社が並んでいる場所」ということで、訪れる人が少ないエリアになってい

るということです。アピオには魅力的な企業がこんなにもたくさんあるというのに…。

ということで、アピオの中を、クイズを解きながら周遊していただくというスタンプラリーを開催しました。クイズは組合員企業さんのご商売に関係する内容で出題でした。

当初予定していました先着100名は受付開始後ほどなく達成。クイズ正解者には厳正なる抽選の結果、賞品としてアピオスペースにあるレストランキッチンほっとほっとの1,000円分お食事券を10名の方に差し上げました。



フェスタも働き方改革

以前までのイベントは、数多くの組合員企業スタッフの皆さんのご協力が必要でした。一日の準備日と二日間の開催日、のべ150人以上の方々にご協力をいただくことで実施することができておりました。

しかしながら、今までのように組合員企業の皆様へご協力をお願いすることが難しくなってきたことから、開催日を二日間から一日のみの開催とし、日よけ雨よけとしてのテントや沢山の来場者のための休憩場所、出展者用のテーブルイス等の設営作業については専門業者を活用して開催することとしました。

お陰で、協力者いただいた方の拘束時間や肉体的負担の軽減につなげることができました。

2025年も開催

今年も「APIO BIZ PARK フェスタ」を開催予定です。今年はseason2です。イベントの内容等は実行委員会においてこれから協議検討し

ていく予定ですが、昨年よりも面白くてアピオに関心を持ってもらえるイベントとしたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。



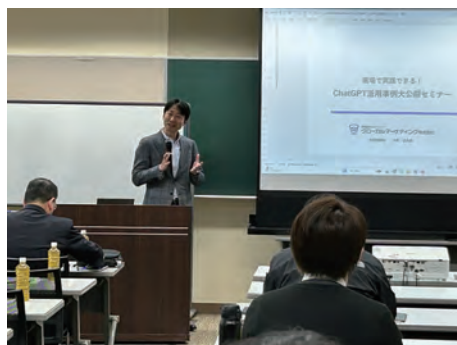
生成AIって、どんなことができるの？

現場で実践できる！
ChatGPT活用事例
大公開セミナー開催

当組合では、生成AIの活用をより広くわかっていただくため、また生成AI導入による各社の業務効率化を図る一助としていただくべく、「現場で実践できる！ChatGPT活用事例大公開セミナー」を開催いたしました。

講師は全国各地で様々なセミナーを開催しているグローバルマーケティング(株)の今井進太郎氏。

セミナーでは、様々なAIアプリの紹介がありました。文章をつくるのが得意なAI、絵を描くのが得意なAI、絵を



実際にAIアプリを使いながら行われたセミナーでは、AIとは「教養豊かで、非常に物知り、日本語が堪能なアメリカ人の新入社員」と例えられており、瞬時に様々な回答を出してくるAIに参加者の皆さんは一様に驚いておりました。

AIを自社でどのように役立てていくか？それは、各社ごとにどのような業務をどのように効率化していくかにより変わっていくとのことでした。

これからの将来に必ず必要となる「AI」。私たちもしっかり学んで、使いこなしていきたいものです。

将来に向けて
次世代を担う経営者・経営幹部を養成次世代経営幹部のための
中小企業経営塾を開催

当組合では、次世代経営幹部養成のためのセミナーを開催いたしました。全6回のセミナーで福島大学 経済経営学類 奥本英樹 教授を講師としてお招きし開催しました。

第3回目のセミナーでは(株)ホリプロタレント育成部門 ボイストレーナー 丸山あい氏を講師としてお招きし、ビジネスコミュニケーション力向上のため、最先端のホリプロメソッドのよるヴォイストレーニングを行ってもらい、みなさまの「声の表現力」と「トークスキル」を高めました。

奥本教授の講義はアカデミックでありながら、実例が取り入れられ、わかりやすい講義でした。

主な講義に内容は以下のとおり・テーマ：ビジネスとリーダーシップ・経営戦略の考え方・テーマ：従業員・取引先にささるプレゼンテーション・テーマ：会計数値によるマネジメント1・テーマ：会計数値によるマネジメント2・テーマ：ガバナンスとコンプライアンス 以上

6講座が行われました。

次年度も開催

この「次世代経営幹部のための中小企業経営塾」は2025年度も開催予定です。多くの方々のご参加をお待ちしております。



ヒューマンスキルセミナー

続いて、研修会のお話です。

2024年10月23日(水)「第一印象は声で決まる！ビジネスのためのヴォイストレーニング」、2024年10月29日(火)「仕事を話し方で高める！ビジネストーク術」を開催しました。講師の先生はフリーアナウンサーでありエムシーネットの代表を務める渡邊奈美氏。

人との意思伝達のなかで必要になってくる「声」と「会話」に着目して行った研修です。声の発生練習や会話のコツ等、明日からのビジネスに役立てることが出来る研修で、参加者は一様に講師の声に耳を傾けておりました。



働き方改革推進支援助成事業へ取り組み

「昨年引き続き」
組合員企業の人材確保支援

当組合では、組合員企業の人手不足解消の一助とすべく、2025年1月19日（日）福島民報社とのタイアップで共同求人広告を発行しました。求人募集を出したのは33社の組合員企業。

これは、通常の求人広告折込チラシとは異なり、福島民報の紙面の一部として、紙面表裏1枚2ページ渡り発行したのもで、他の求人チラシとは「ちょっと

今年度も…

2025年度も共同求人を実施予定です。各社の求人のタイミングにもよるとは思うのですが、是非ご活用いただければと思います。



セミナーも開催予定

2025年度はこの合同求人広告をより有効にお使いいただくために、求人広告に記載するコツを伝授するセミナーを開催予定であります。詳細は追ってお知らせいたしますが、こちら併せてご活用ください。

個別巡回指導

昨年に引き続き、本年も社会保険労務士法人とタイアップして働き方改革推進に関する組合員個別巡回指導を行い、参加企業の「困った」、「どうするの?」の解決の一助としていただきました。

5事業所が参加し、延べ10回の巡回指導が行われました。

ホームページの改修

皆さん、お気づきだったでしょうか?アピオのホームページが全面リニューアルされています。

組合員企業さんの求人情報をはじめ、団地内不動産の案内ページも新設されました。

今どきのカッコよいホームページになりました。ホームページのアドレスは <https://apio.or.jp/>

apio.or.jp/ 是非覗いてみてくださいね。

APPIO BIZ PARKのブランディング

当組合30周年の節目に掲げたビジョン「APPIO BIZ PARK」この言葉と共にロゴマークも作られました。団地内の街路灯に提げられたフラッグにも記載されているの

で、見かけた方も多くいらっしゃると思うのですが、図柄に込められた意味をご存じの方は少ないかもしれません。是非一度コンセプトシートご覧いただければと思います。また、そのロゴマークを活用した印刷物の案内も作成いたしましたので、皆さんの会社でもご活用ください。

会津若松市へ要望書を提出

よりよいアピオとするために

2025年3月7日（金）、当組合と会津若松トラックセンター（協）、会津若松市高野地区・町北地区、会津若松卸商団地内防犯連絡協議会との連名で要望を提出いたしました。

これまでの継続要望である物流1号幹線の笈川街道までの拡幅延長のほか、冬季間の積雪に対する迅速な対応など、団地内の環境整備に関わる要望を提出してまいりました。



ナイスショット!!ゴルフ愛好会コンペ

今年度も開催されました、アピオのゴルフ愛好会のコンペです。初夏と秋にいずれも会津で名門コースといわれるゴルフ場で開催しました。

ボナリ高原ゴルフクラブ

2024年7月3日(水)、晴天の下、17名の参加で行われました。優勝したのは、元松浦商事(株)の渡部和彦さん

会津磐梯カントリークラブ

2024年10月30日(水)、24名の参加で行われました。スタート時は生憎の濃霧。打ったボールを探すのに一苦労でしたが、次第に霧も晴れ、何とかプレーができました。途中、野生のシカとラウンドした組もあったようでした。

優勝したのは、松浦商事(株)の大竹裕一さんでした。



気軽に参加してみてね。

このコンペは団地内企業の方であればなたでもご参加いただけるコンペです。

「私は上手じゃないから」と心配されている方!私はいつも120前後です。それでも楽しく参加しています。是非是非皆さんのご参加、お待ちしております!



恒例の!アピオクリスマスパーティー

組合員企業等の従業員さんの福利厚生と従業員さん同士またそのご家族も含めた親睦を図る会として開催しております、「会津アピオクリスマスパーティー」。2024年度は12月12日(木)に、恒例となった会津写遊庭さんで開催しました。

参加者は来賓の方を含めた大人が53名、子供が25名、合計78名の方々に参加いただきました。美味しい料理とデザート、種類豊富なドリンクを参加者一同楽しみました。

ストライク!!アピオボウリング大会

2024年度も3月7日(金)に開催いたしました。なんと第25回目の開催となります。なかなかの回数を重ねてまいりました。

当組合から52名、トラックセクター(協)より10名、合計62名の参加での熱戦となりました。ボウリング大会終了後はルネッサンス中の島さんと表彰式懇親会を開催。団体戦と個人戦の表彰を行いました。

団体優勝は和田克明さん(株シンワ)、松澤郁子さん(会津

アトラクションはくじ引き大会。わくわくがいっぱいで会場内は大いに盛り上がりしました。賞品をご協賛いただきました組合員企業の皆様、誠にありがとうございました。



若松卸商団地(協)事務局)、長嶺修さん(会津若松卸商団地(協)事務局)の三名
個人優勝は廣瀬悠紀さん(株ケンオリ)、準優勝 木村里美さん(株ユアテック)、三位 松澤郁子さん(会津若松卸商団地(協)事務局)でございました。皆さん、おめでとございました。

たくさんのご協力、ご協賛ありがとうございました。

毎年のことなのですが、このボウリング大会の賞品は皆様からのご協賛で成り立っております。今回もご協力誠にありがとうございました。

うございました。21の企業・団体様からご協力をいただきました。2025年度もこの大会を開催予定です。皆様からのご協力をお願いいたします。



トラスコ中山・ユーメディア視察

青年部会視察研修

青年部会では、2025年2月14日(金)15日(土)の二日間、企業視察を行ってまいりました。

㈱ユーメディア

元々印刷業の会社。現在では時代の潮流に合わせて、「コミュニケーションデザイン」ということを目的に掲げており、地域イベントの企画・運営、ラジオ放送、印刷・出版業等の多様な事業をグループ3社で行っている企業でした。

現在の時代に変化に合わせて、働き方改革(自社ビルを21時まで完全閉鎖、リモートワークの実施等)や人材採用(自社サイトのみ応募、大学の講義を通じてのインターン等)の工夫を実施しており、結果として、残業時間の削減や離職率の低下に繋がっております。

また若手の採用を強化していることもあり、若手が活躍する勢いを感じました。

トラスコ中山(株)プラネット東北

工具や資材の卸売企業で、経済産業省が選定しているDXプ

ラチナ企業2023・2025に選ばれている企業でもあります。

会社全体で顧客第一を掲げており、お客様の需要があると考えば、ニッチな商品でも積極的に在庫し、一般的には在庫回転率という指標で品物を管理するところ、在庫からどれだけ出荷出来たかを測る、在庫出荷率、という独自の指標で管理していました。

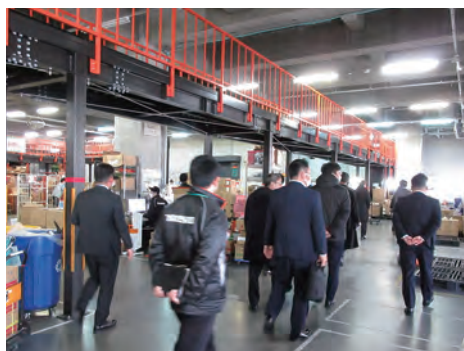
工場見学においては、一部商品の分別で手動の工程もあるものの、運搬やピッキング等がほぼ自動化されており、無駄がなく、誰でもオペレーションが行えるようになっていました。

工場にはアルバイトの方もいましたが、皆さん積極的に挨拶をして下さり、とても心象良く感じられる企業でした。その他、松島蒲鉾、㈱一ノ蔵を視察してまいりました。



組合代表者変更 (敬称略)

2024年度は代表者の変更はございませんでした。



東北緑化環境保全株式会社会津支社 加入

当社会津支社は、本年2月に市内旭町より株式会社ユアテック会津営業所様2階に移転いたしました。

当社は東北電力グループ企業として、人と自然に優しい環境づくりの事業をトータルプロデュースし社会に貢献することを目的に、造園・土木・建築環境調査、測定分析関連の業務



を行っております。

会津支社では、水力発電所や地熱発電所の維持・保守業務および水質・環境調査などの他、建築物のアスベスト調査・除去業務にも取り組んでおります。

編集後記

2024年度も色々なことがありました。

猛暑、円安、闇バイト、パリ五輪に新紙幣発行。まだまだありますが、多くの国民の記憶に鮮明に残るのは、やはりアメリカメジャーリーグの大谷翔平選手の歴史的な活躍ではないでしょうか。

投手としての出場を封印し、打者に専念した大谷選手は、MLB史上初の「50本塁打・50盗塁」を達成。2年連続3度目のMVP受賞という偉業は、怪我という困難を乗り越え、常に高みを目指し努力を続ける彼の姿を通して、目標達成への強い意志と不屈の精神を私たちに示してくれました。

目まぐるしく変化する経済環境において、大谷選手の飽くなき向上心とストイックな姿勢は、私たちにとって重要な指針となります。いかなる状況でもベストを尽くす彼の精神を学び、私たちもそれぞれ目標に向かって着実に前進し、未来の可能性を切り開いていかなければなりません。

当組合も創立から33年を迎えました。皆様と共に一歩ずつ着実に力を合わせ、APOBIZPARKを創り上げていきたいと思います。お陰様で、組合だよりも第13号を発行することができました。これは偏に皆様のご協力の賜物です。心より感謝申し上げますとともに、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。